

平成 26-27 年度 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業)
(課題番号 H26-健危-一般-002)

「地域保健に従事する人材の計画的育成に関する研究」

研究班組織構成

研究代表者

奥田 博子 (国立保健医療科学院 上席主任研究官)

研究分担者

宮崎 美砂子 (千葉大学大学院看護学研究科 教授)

守田 孝恵 (山口大学大学院医学系研究科 教授)

中板 育美 (日本看護協会 常任理事)

佐伯 和子 (北海道大学大学院 教授*H27~)

福島 富士子 (東邦大学看護学部 教授)

橘 とも子 (国立保健医療科学院 上席主任研究官)

研究目的

本研究は、体系的な保健師等の人材育成プログラムを開発し「人材育成策定ガイドライン」を作成することにより、各自治体において地域保健の向上に資する専門職の人材育成体制の推進に寄与することを目的とする。

➤ 平成26年度

- ・保健師の人材育成に関するベースライン調査
- ・体系的な人材育成が可能となる要件の明確化

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 保健師の専門能力向上のための研修に関する研究(都道府県実態調査) | 【守田班】 |
| 2. 統括的な役割を担う保健師の実態と機能推進要因に関する研究 | 【奥田班】 |
| 3. Competency獲得に必要な教育プログラム量の検討に関する研究 | 【宮崎班】 |
| 4. 保健師のキャリアの概念の分析 | 【中板班】 |
| 5. 保健師ガイドラインの多職種への適応可能性の検証に関する研究 | 【橘班】 |

➤ 平成27年度

- ・ガイドライン策定のための保健師の人材育成に関する追加調査
- ・体系的な人材育成が可能となる人材育成計画ガイドラインの策定

- | | |
|---------------------------------------|------------|
| 1. 保健師の専門能力向上のための研修に関する研究(保健所設置市実態調査) | 【守田班】 |
| 2. 職務・研修履歴および産休・育休中のキャリア支援の実態に関する研究 | 【奥田班, 福島班】 |
| 3. Competency獲得に必要な教育プログラム量の検討に関する研究 | 【宮崎班】 |
| 4. 保健師のキャリア・ラダーに関する研究 | 【佐伯班】 |
| 5. 保健師のキャリア・パスに関する研究 | 【中板班】 |
| 6. 保健師ガイドラインの多職種への適応可能性の検証に関する研究 | 【橘班】 |

「人材育成計画策定ガイドライン」(骨子)

- ・人材育成計画策定ガイドラインの基本的な考え
- ・保健師に求められる専門能力
- ・保健師に求められる専門能力向上のための方法
- ・人材育成推進のための体制

「職務・研修履歴および産休・育休中のキャリア支援の実態に関する研究」
 保健師の研修・職務履歴管理，および産休・育休中のキャリア支援の実態調査概要

調査目的，方法

【目的】

保健師の研修・職務履歴管理，および産休・育休等の休暇取得者に対する支援実態を把握，人材育成体制整備に資する基礎データの収集を図る

【方法】

- 1) 調査時期； 平成27年6月15日～7月7日
- 2) 調査対象； 都道府県，指定都市，中核市，その他政令市，特別区の自治体142か所
人材育成担当部署の職員 全数調査
- 3) 調査方法； Web-Qアンケート調査

回答結果

回答入力件数167 分析対象件数121 (有効回答率 85.2%)

自治体種別	対象自治体数	有効回答数	自治体別回答率(%)	回答割合(%) n=121
都道府県	47	42	89.4	34.7
指定都市	20	14	70.0	11.6
中核市	45	38	84.4	31.4
その他政令市	7	7	100.0	5.8
特別区	23	20	87.0	16.5
計	142	121	85.2	100.0

